

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信/海外/株式

2018年9月28日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と、米国債長短金利差についての考察、及び今後の企業業績の見通しと当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

大型株は堅調

9月の米国株式市場は、米国の中国に対する制裁関税導入に対する懸念から前半は弱含んだものの、関税の内容発表後は、悪材料出尽くしから反発しました。海外売上比率の高い大型株が、米ドルの下落も追い風となり上昇を牽引しました。一方、中小型株については、長期金利上昇が重石となり、やや軟調な値動きとなりました。

長短金利差の縮小時の株式市場

米連邦準備制度理事会(FRB)による政策金利引上げにより短期金利が上昇する一方、長期金利の上昇は緩やかなため、長短金利差の縮小が続いています。長短金利差が逆転する逆イールドは、景気後退の予兆との見方もあることから、市場の焦点となっています。

図表2は、10年国債と2年国債の金利差(bp)とS&P500種トータルリターンの過去30年間の推移です。これを見ると、長短金利差が縮小する局面において、株式市場はむしろ堅調であることがわかります。

図表3は、過去30年の長短金利差が逆転した局面において、その後2年間の株式市場のリターンがどうであったかを示したものです。

現在の長短金利差は、逆イールドにはなっておらず、株式市場にとって悪材料ではないと考えられます。

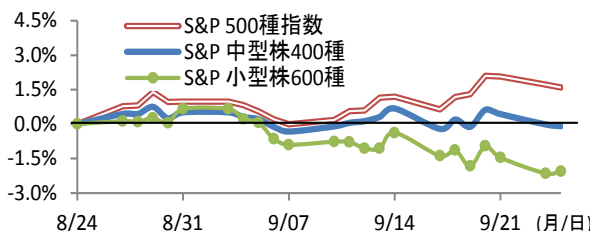
2018年第3四半期の業績見通し

10月中旬以降、2018年第3四半期の企業業績発表が本格化します。現在、S&P500種指数のEPS(1株当たり利益)成長率は+19%となっており、前2四半期と同様に高い成長が予想されています。

図表4は、S&P500種指数の四半期別EPS成長率の推移を週次で示したものです。前2四半期は、業績発表が進むにつれ予想成長率が上方修正されており、それを織り込む形で株式市場も上昇しました。第3四半期の企業業績も同様に上方修正トレンドが継続すれば、株式市場にとって好材料と考えられます。

図表1 規模別米国主要株価指数の推移

(2018年8月24日～2018年9月25日、米ドルベース、トータルリターン)



図表2 S&P500種指数と米国債長短金利差(10年-2年)の推移

(1988年8月～2018年8月、月次、トータルリターン、米ドルベース)



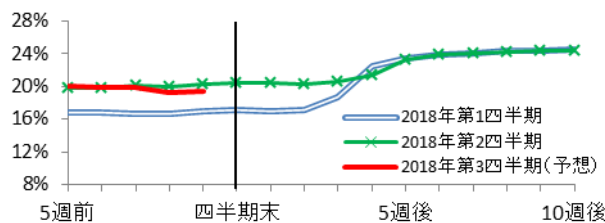
図表3 過去の米国債長短金利差逆転時と以降の株価リターン

(1988年8月～2018年8月、月次、トータルリターン、米ドルベース)

長短金利差(10年-2年)逆転時	S&P500種トータルリターン(逆転時から2年間)
1988/12/14 ~	27.4%
1998/04/24 ~	32.5%
2000/02/03 ~	-21.3%
2005/12/27 ~	22.0%

図表4 S&P500種指数四半期別EPS成長率の推移

(2018年第1四半期～2018年第3四半期、週次、米ドルベース)



(出所) 図表1, 2, 3, 4は Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年9月26日)



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額(円)	10,019
残存元本(口)	2,224,965,182
純資産総額(円)	2,229,283,841
実質株式組入比率(%)	88.3
短期金融商品その他(%)	11.7
組入銘柄数	64

決算期	分配金(円)
第10期(2018年9月26日)	950
第9期(2018年6月26日)	0
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
 ※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター		
順位	セクター名	比率
1	資本財	16.8%
2	ヘルスケア機器・サービス	11.7%
3	ソフトウェア・サービス	10.7%
4	小売	10.4%
5	食品・飲料・タバコ	6.5%
6	各種金融	6.3%
7	エネルギー	4.2%
8	銀行	4.1%
9	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.9%
10	半導体・半導体製造装置	2.9%

組入上位10銘柄			
順位	銘柄名	セクター	比率
1	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	3.0%
2	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.9%
3	MSCI	各種金融	2.7%
4	TJX	小売	2.6%
5	インテュイティブサージカル	ヘルスケア機器・サービス	2.5%
6	ビザ	ソフトウェア・サービス	2.5%
7	USバンコープ	銀行	2.4%
8	ハリス	資本財	2.4%
9	フォーティフ	資本財	2.3%
10	アマゾン・ドット・コム	小売	2.3%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、株価の調整で割安感が高まった資本財株や医薬品株を新規に買い付けた一方、当初の運用方針に沿ってテクノロジー・ハードウェア株を売却しました。また、9月中旬に米国東部に上陸した大型ハリケーンによる被害の影響を懸念し、保険株の一部を売却しました。

今後の米国株式市場は、10月前半は、米中貿易摩擦を巡る不透明感でやや軟調な展開が予想され、後半以降は、第3四半期の決算発表が本格化し、企業業績への期待感から底堅く推移すると予想します。

当面の運用につきましては、好調な米国経済の恩恵を受ける資本財や小売株、独自の成長ストーリーを有するヘルスケア機器株及びソフトウェア・サービス株をウェイト付けします。一方、原材料価格の上昇が懸念される食品・飲料株については、一部売却を検討します。

当ファンドは、2018年9月26日に決算を迎え、分配金は1万口当たり950円(税引前)とさせて頂きました。

以上
(作成:運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2018年9月28日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)